

## 1. ISO/TC61/SC12の構成

### ISO/TC61（プラスチック）/SC12（熱硬化性材料）、分野の最近の動向

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、87の規格を有する。幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長は、日本（2016年より山崎聡氏（三井化学株式会社））が受諾している。2018年のメンバーは、Pメンバー（投票権有す）が、18カ国、また Oメンバー（オブザーバ）は、11カ国であった。

表1のように三つのWG（作業グループ）が活動している。

WGのコーディネータは、WG2は正岡和隆氏、WG5は代理コーディネータで正岡和隆氏、WG6は Dr.Thomas. Conti（ANSI；USA）が務めている。

表1 TC61/SC12のWG

WG	コーディネータ	タイトル
WG 2	日本	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

第67回ISO/TC61年次国際会議は、9月24日から日本のさいたま市のSonic Cityで開催され、同会議で審議された国際規格の制定・改正状況をWG（作業グループ）別に、記述する（規格の名称は簡略して示す。）。

## 2. ISO/TC61/SC12の審議事項

### (1) WG2（フェノール樹脂）

コーディネータ：正岡和隆氏

- a) 2017年Systematic Reviewは、旧WG1分4規格と併せて、全8規格が見直し投票され、確認された。
- b) イントからの新規プロジェクトの提案2件は、中止となった。

### (2) WG5（エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂）

コーディネータ：正岡和隆氏

- a) ISO 14322については、日本から改正提案に基づき、FDISが実施され、改正案は承認、発行となった。
- b) 2018年度Systematic Reviewで2規格が見直し投票され、確認された。

### (3) WG6（ポリウレタン原料）コーディネータ：Dr. Conti

- a) 日本から提案の、ISO/NP 21257「ポリマーポリオール中のアクリルトリモノマー及びスチレンモノマー残留量の測定方法」について CD投票、DIS投票を実施した。DIS段階で、承認され、規格発行に進んだ。
- b) 日本から提案の、「非水銀法ポリオールの不飽和度測定」については、開発開始の提案をした。
- c) 2018年Systematic Reviewは、該当規格が無かった。

(以上)